

発行：山形県立荒砥高等学校PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校PTA文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL(0238)85-2171 FAX(0238)85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>

いなりだい



地域貢献活動 紅花摘みボランティア



吹奏楽部 第21回定期演奏会



エリート思緒さんとのコラボピザ販売
白鷹町産業フェア



スポーツ祭 全校ソーラン節



2年次 就業体験(消防署)

一年を振り返って



PTA会長 馬場 修

日頃より町民の方々と町当局のバックアップにより、荒砥高校へのご支援、ご協力を頂いておりますこと心より感謝いたします。ありがとうございます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。また、来年度から置賜地区では米沢商業と米沢工業が統合となり鶴城高校となります。生徒数の減少は日本全体の問題で、高校再編はある意味仕方ないことと個人的には思いますが、そのなかで荒砥高校を白鷹町に残すという町長の思いをあら

りがたくさんあります。先日、我が荒砥高校への町の手厚い支援がいかにすごいかを思い知る機会がありました。置賜地区の高校のPTA会長が集まる研究会で荒砥高校の活動を発表してまいりました。今回が荒砥高校の発表の回り番だったというだけですが、そこで他の高校から関心を寄せられたのが町の支援の手厚さです。他の高校でも同じような支援が行われているものだと思っていたのですが、同じ小規模校の小国高校からは羨ましい限りという言葉も頂いたのでした。日々生徒たちと向かい合っている先生方にも感謝いたします。その昔、我が学校はあまり素行がよろしくない時代がありました。その頃のイメージがまだに残っており進路選択の支障になっていたと耳にした時がありました。それでも今現在在籍している生徒たちと、先生方の努力で雰囲気は素晴らしい学校になっています。是非、荒砥高校へお出ください。秋に行われる荒高祭では一般公開をしております。町内の企業とコラボした商品や生き生きとした生徒たちの活動をご覧になっていたかと、イメージも変わるのでないかと思っております。今後とも荒砥高校に変わらぬご支援をお願い致します。

令和6年度 3年生進路先一覧 (■男、●女)

★就職者 9名 (男6名 女3名)

白鷹町 7名 (男4名 女3名)

- ・日本G.T 株式会社 山形工場 ■
- ・社会福祉法人 白鷹福祉会 ●
- ・株式会社 ニクニ白鷹 ■
- ・株式会社 ハヤタ製作所 ■
- ・株式会社 アーレスティ山形 ■
- ・株式会社 ナカヤマ製作所 ●

長井市 2名 (男2名 女0名)

- ・光洋精機 株式会社 山形工場 ■
- ・那須建設 株式会社 ■



★進学者 5名 (男3名 女2名)

大学 2名 (男1名 女1名)

- ＜私立＞
- ・東北文科大学 人間関係学科 ●
- ・東北文化学園大学 経営法学部 経営法学科 ■

専門学校 3名 (男2名 女1名)

- ・山形デザイン専門学校 ビジュアルデザイン科 ■
- ・山形調理専門学校 調理高度技術科 ■
- ・大原簿記公務員専門学校新潟校 経理ビジネス学科 ホテル・観光コース ●

今年度の進路状況を振り返って

進路指導課 荒井 清明

今年度の三年次十五名は、就職希望者十名と進学希望者が五名と就職希望者が多い年でありました。今年度は、企業の業績が好調なことから、積極的な求人活動を行う企業も多く、県外、県内を問わず、多くの企業から非常に良い条件での求人をいただきました。また、大学や専門学校も、よりよい学生を確保するために工夫を凝らした入学試験を実施しています。このような状況の中で、自分の長所を見極めて進路先を選ぶのは、難しくなっていると感じています。しかし、実際には就職・進学ともに活発で積極的な動きにより、年内に三年次のほとんど全員の進路を決定することができました。

最初に今年度の就職は、希望者全員地元企業へ就職を希望しており、ハローワーク長井管内の企業から希望者全員が内定いただいたことは、地域を支える人材の輩出を目指す本校としてはうれしい限りであります。これも、白鷹町合同企業説明会を始め、就業体験活動や企業見学など、地元企業の協力の基に進路について考える機会を実施しているところにあると考えております。

続いて今年度の進学は、総合型選抜制度を利用して生徒の多くが合格しております。四年制大学に二名、各種専門学校に三名が決定しております。選抜方法に口頭試問やプレゼンテーションなど、学校の特色に合わせた多様な試験が実施されました。これらの試験では、総合的な探究の時間での探究活動や学校活動を発表して合格につながることもできました。この結果は、後輩たちにも良い見本になったと考えています。

終わりに、今年度は十五名が本校を巣立ちます。もし、何かのご縁で一緒にいる機会がありましたら、一言お声をお掛け頂ければ幸いです。



三年間を振り返って

三年次主任 鈴木 祥子

歴代最少人数(十五名)の年次団で卒業を迎えようとしています。入学当初は、物静かで今後、荒高を引っ張って行けるだろうかと不安もありましたが、今、生徒一人一人の表情には明るく頼もしさが見られ、荒高での生活が、生徒達を大きく成長させてくれたものと大変嬉しく思います。

一年次、初めての白鷹町地域学習(二日間の体験ツアー)、二年次の三日間の就業体験、三年間の紅花摘みボランティア、学校行事のスポーツ祭、荒高祭、クラスマッチ、それぞれの経験が、糧となり、力となりました。また、修学旅行経費、自動車学校入校の際の補助など白鷹町より支援していただきました。今後ともそれぞれの場で感謝の気持ちをもって活躍することを期待しています。

保護者の皆様、後援会をはじめとする町内の皆様方のご理解ご支援あつてのことと感謝申し上げます。卒業後も温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

今年度のPTA活動を振り返って

今年度のPTA活動は、ほぼ計画通り実施することができました。特に荒高祭でのPTA模擬店は好評を博しました。学校行事や地域と密着した、荒砥高校の様子を「いなりだい」を通して多くの方々に発信できるように今後とも協力していきたいと思っております。

発行に伴い、原稿執筆にご協力いただきました皆様心より感謝申し上げます。来年度も本校の教育活動にご協力をお願いいたします。

- (PTA文化部 編集委員会)
- 部長 宮澤いずみ
 - 部長 佐竹てるみ
 - 部長 佐藤 良一
 - 部長 佐藤めぐみ
 - 部長 佐竹 善幸

荒高祭特集

全力で楽しんだ
荒高祭

今年の荒高祭のテーマは「青春したい宣言」カラフルポップコーンです。この言葉には、「生徒一人一人の個性を活かし、ポップコーンのようにはじけて全力で楽しもう」という意味が込められています。小規模かつ少数高校だからこそその良さを活かし、生徒全員がカラフルにはじけて、一人一人が輝ける文化祭にしたいという思いでこのテーマにしました。

今年の荒高祭は、一日目は生徒会企画から始まり仮装大会や有志発表、今年度初企画のミス・ミスターコンテストを行いました。二日目は、各年次・各委員会の催しがありました。どのクラスも委員会も手の込んだ企画ばかりでとても大盛況でした。三年次は模擬店でカフェを開き、ポップコーンと三種のケーキを販売しました。

今年は去年よりもたくさんのお客様に来ていただきました。生徒全員二日間とも全力で楽しむことができ、たくさん笑いの声が聞けた荒高祭でした。

荒高祭実行委員長
穂積 英虎

ご支援に心から感謝申しあげます
後援会の紹介とご支援のお願い

沼澤 政幸
町民の皆様、後援会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申しあげます。また、日ごろより本校の教育活動および後援会の運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も本頁下部の「令和六年度 後援会特別会費ご支援団体・個人」に記載させていただきました団体様・個人様と保護者様から多大なる会費を頂戴しました。日本経済は緩やかな回復をしていると言われておりますが、大変な物価高に企業（団体）・家庭が苦しめられています。そんな中ご協賛賜りまして本当にありがたく、衷心から感謝いたしております。頂きました会費はこれまで同様学校経営に大きく寄与いたしました。重ねて御礼申し上げます。

この「いなりだい」は、町内全戸に回覧されると伺っておりません。本紙面を借りて、最初に、後援会の紹介をさせ

ていただきます。本会は、普通会員（保護者）と特別会員（法人、個人、教職員）で構成され、それぞれ普通会費、特別会費をご支援いただいております。普通会員は一万二千円。特別会員については、法人会員は一口（二万円）とし、一口以上、個人会員は一口（五千円）とし、一口以上のご支援をお願いしております。

次に、はなはだ恐縮ですが、同窓生の皆様や町民の皆様にお願いです。本後援会の趣旨「教育活動全般を支援し、その発展と充実を図ることを目的とする」に御賛同いただき、後援会会員としてご支援ご協力を賜りたいと存じます。荒砥高校で学ぶ生徒は、近い将来、国や県、白鷹町を背負って立つ地域の宝です。出費多端の折、誠に恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。金額や口数、時期を問わず、可能な限りご協力いただければ幸甚に存じます。御賛同いただける場合は、お手数ですが高校の事務室窓口にご持参ください。荒砥高校に対して、これからも皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。

P.T.A・後援会の支援に感謝の一年
校長 石田 充

後援会の皆様には、日頃より、本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

今年度は、二十四人の新入生を迎え全校生七十二名で、創立から七十六年目の春を賑やかにスタートし、猛暑に悩まされた長い夏を乗り越えて、現在、年度末の締めくくりへと向かっています。

コロナ禍による各種制限もなく、感染症対策を実施しながらではありましたが、今年度も、スポーツ祭、荒高祭、クラスマッチをこれまでどおり実施することができました。荒高祭では、一般公開や模擬店企画を実施、P.T.A.の皆様出店のカレーや唐揚げ、パン販売等は短時間で完売し、美味いと頷く生徒たちの笑顔がたくさん見られました。荒高祭を賑やかにしていただきとても感謝しております。お蔭様で、小中学生をはじめする地域の方々、卒業生など、約二百人

近くの方が来校してくださり楽しんでいただきました。また、昨年度に引き続き、白鷹町青少年国際交流事業も実施され、本校からも二名の生徒がオーストラリアを訪問し国際感覚を養う研修に参加しました。

このほか特筆すべきこととしては、例年実施しております、図書委員会による町立図書館での子供たちへの絵本読み聞かせボランティアが、「令和六年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣より表彰をいただきました。この活動を実に二十三年間継続して取り組んできたことが評価されたもので大変嬉しく思っています。

部活動では、今年度も囲碁班女子で、全国高校総合文化祭岐阜大会と全国選手権大会に出場しました。他にも、陸上競技部、卓球部、総合運動部、吹奏楽部、美術班、パソコン班など、今年もたくさんの生徒たちの活躍がありました。

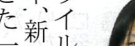
今後も、皆様から寄せられるご支援にお応えできるよう、一層教育活動の充実に取り組んで参ります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

令和6年度 後援会特別会費ご支援団体・個人

- ご支援ありがとうございました。
- | | |
|--|--|
| 山形新報株式会社
株式会社ニクニ白鷹
株式会社ハヤタ製作所
有限会社長谷部鉄筋
衣袋建設株式会社
しらたか不ニサツ株式会社
東北部品株式会社 山形工場
丸ト建設株式会社
株式会社アレスティ山形
有限会社セイノヤ
朝日金属工業株式会社
株式会社ナカヤマ製作所
株式会社鈴木工務店
株式会社川崎精工
株式会社志ん月
丸吉コンクリート工業株式会社
小角薬局
須貝設備工業株式会社
那須建設株式会社
医療法人社団 仁鷹会 新野晃敏
株式会社佐藤燃料店
株式会社山形尚堂
社会福祉法人 長井弘徳会
社会福祉法人 長井福祉会
山形精密製造株式会社
日本G.T.株式会社
株式会社喜助
株式会社丸秀 長井工場
社会福祉法人 白鷹福祉会
医療法人社団 聡明会
加賀マインローション株式会社山形事業所
株式会社デンソー山形
共栄建設株式会社
有限会社小嶋自動車整備工場
株式会社権名製作所
株式会社ヒグチ電子
株式会社サンユー技研
株式会社佐々木組
株式会社四金製作所
第一貨物株式会社山形支店
有限会社三和製作所 | 山形新報株式会社
株式会社ニクニ白鷹
株式会社ハヤタ製作所
有限会社長谷部鉄筋
衣袋建設株式会社
しらたか不ニサツ株式会社
東北部品株式会社 山形工場
丸ト建設株式会社
株式会社アレスティ山形
有限会社セイノヤ
朝日金属工業株式会社
株式会社ナカヤマ製作所
株式会社鈴木工務店
株式会社川崎精工
株式会社志ん月
丸吉コンクリート工業株式会社
小角薬局
須貝設備工業株式会社
那須建設株式会社
医療法人社団 仁鷹会 新野晃敏
株式会社佐藤燃料店
株式会社山形尚堂
社会福祉法人 長井弘徳会
社会福祉法人 長井福祉会
山形精密製造株式会社
日本G.T.株式会社
株式会社喜助
株式会社丸秀 長井工場
社会福祉法人 白鷹福祉会
医療法人社団 聡明会
加賀マインローション株式会社山形事業所
株式会社デンソー山形
共栄建設株式会社
有限会社小嶋自動車整備工場
株式会社権名製作所
株式会社ヒグチ電子
株式会社サンユー技研
株式会社佐々木組
株式会社四金製作所
第一貨物株式会社山形支店
有限会社三和製作所 |
|--|--|
- 《個人》
沼澤 政幸
菊地 豊男
土方 俊男
五十嵐政司
遠藤 茂男
佐藤 節子
荒砥高校教職員一同

ガラスマッチ





新生徒会長
齋藤 あみ

今年度は新型コロナウイルスによる制限がない中、新しいことに沢山挑戦できた一年だったと思います。しかし、初めてのことにも挑戦することも多々ありました。そのような時でも、今年度の生徒会スローガン「CANVAS〜虹色〜主役〜」の下、仲間と力を合わせながら課題を解決し、より良い荒砥高校を作れるよう努めました。

このスローガンには、生徒一人一人の個性を大切に、青春というCANVASに個性という色を描くという意味が込められています。今年度は生徒が主体として行事や生徒会活動に全力で取り組み、すべての活動で大成功を収めることができ、多くの笑顔を見ることができたと思います。それは多くの人に支えられていたことからこそ成し遂げられたことだとす。

地域の方々、保護者の皆様、先生方、ありがとうございました。来年度からも小規模ではありますが、地域との繋がりを大切にしながらより魅力的な学校になるよう、新執行部を中心に頑張つて欲しいと願っています。一年間本当にありがとうございました。

個性輝く荒砥高校

新生徒会長
伊藤

今年度の生徒会スロガンは「C.A.N.V.A.S」虹色Ⅱ主役、お互いの個性を尊重し、青春というキャンパスに個性輝く虹を描きたいという思いが込められています。

なれない業務が多く、大変だと感じる場面も多々ありましたが生徒会のメンバーと様々な工夫をし、協力しながら荒砥高校を盛り上げようと活動してきました。これからも様々な場面で苦勞すると思いますが、生徒会が中心となつてより良い荒砥高校にしていきたいです。一年間よろしくお願いします。



今年度の生徒会スロガンは「C.A.N.V.A.S」虹色Ⅱ主役、お互いの個性を尊重し、青春というキャンパスに個性輝く虹を描きたいという思いが込められています。

なれない業務が多く、大変だと感じる場面も多々ありましたが生徒会のメンバーと様々な工夫をし、協力しながら荒砥高校を盛り上げようと活動してきました。これからも様々な場面で苦勞すると思いますが、生徒会が中心となつてより良い荒砥高校にしていきたいです。一年間よろしくお願いします。

令和六、七年度
生徒会役員紹介

伊藤 心結	新野 美生	川田 大夢	村上 愛海	吉村 真央	湯澤 真維	小山恵莉奈	佐竹 和也	遠藤 大翔	手塚 悠太	深澤 哲平	石田 彩花	佐藤 日向	原田 小雪
會長	副會長	事務局長	議長	生活委員長	保健委員長	圖書委員長	事務局員企畫	事務局員応援	事務局員	事務局員	事務局員	事務局員	事務局員

修学旅行



思いっきり楽しんだ
修学旅行

修学旅行委員長

湯澤 真維

策で、思いっきり、自由に楽しむことができました。
そのため不安や心配事がたくさんありました。しかし、今回の三泊四日の修学旅行は思いっきり楽しむことができました。そして充実した四日間を過ごすことができました。

一日目に行ったユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、みんな各々、アトラクションに乗ったり食べ物を食べたりして楽しんでいました。自由行動だったため、いろいろな不安はありましたが目立つトラブルがなくて良かったです。^(笑)

二日目の清水寺では修学旅行では見られないライトアップされた夜の清水寺にいきましました。人が多く危うく迷子になりましたが、紅葉がライトアップされてとても綺麗でした。他にもたくさんさんの名所いきき日本の歴史や文化を学ぶことができました。

今回の修学旅行で友達との仲がさらに深くなったと思います。修学旅行で得た学びと経験を学校生活に活かして、自分たちの進路実現に向けてがんばっていききたいと思います。ご支援ありがとうございます。